

3年普通科 数学Ⅲ 教科書 解答

[323改訂版 高等学校 数学Ⅲ 練習1]

(1) $f(x) = \frac{4}{x}$ とすると

$$f'(x) = -\frac{4}{x^2}$$

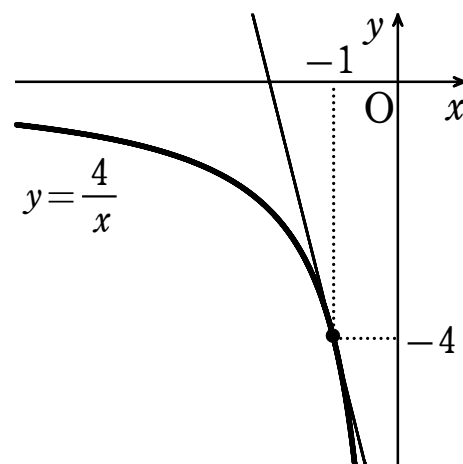
であるから

$$f'(-1) = -4$$

よって、点 $(-1, -4)$ における接線の方程式は

$$y - (-4) = -4\{x - (-1)\}$$

すなわち $y = -4x - 8$



(2) $f(x) = \tan x$ とすると

$$f'(x) = \frac{1}{\cos^2 x}$$

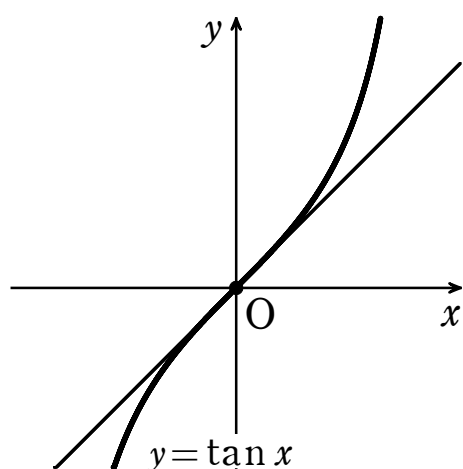
であるから

$$f'(0) = 1$$

よって、点 $(0, 0)$ における接線の方程式は

$$y - 0 = 1 \cdot (x - 0)$$

すなわち $y = x$



[323改訂版 高等学校 数学Ⅲ 練習2]

(1) $f(x) = \frac{2}{x}$ とすると $f'(x) = -\frac{2}{x^2}$

よって $f'(1) = -2$

したがって、求める法線の方程式は

$$y - 2 = \frac{1}{2}(x - 1) \quad \text{すなわち} \quad y = \frac{1}{2}x + \frac{3}{2}$$

(2) $f(x) = \sin x$ とすると $f'(x) = \cos x$

よって $f'\left(\frac{\pi}{6}\right) = \frac{\sqrt{3}}{2}$

したがって、求める法線の方程式は

$$y - \frac{1}{2} = -\frac{2}{\sqrt{3}}\left(x - \frac{\pi}{6}\right) \quad \text{すなわち} \quad y = -\frac{2}{\sqrt{3}}x + \frac{\pi}{3\sqrt{3}} + \frac{1}{2}$$

[323改訂版 高等学校 数学Ⅲ 練習3]

$y = e^x$ を微分すると $y' = e^x$

ここで、接点の座標を (a, e^a) とすると、接線の方程式は

$$y - e^a = e^a(x - a)$$

すなわち $y = e^a x + e^a(1 - a)$ …… ①

(1) 接線①の傾きが1であるから

$$e^a = 1 \quad \text{すなわち} \quad a = 0$$

①に代入して $y = x + 1$

(2) 接線①が点(1, 0)を通るから $0 = e^a + e^a(1 - a)$

$$\text{よって} \quad e^a(2 - a) = 0$$

$e^a \neq 0$ であるから $a = 2$

①に代入すると $y = e^2 x + e^2(1 - 2)$

整理して $y = e^2 x - e^2$

[323改訂版 高等学校 数学Ⅲ 練習4]

(1) $\frac{x^2}{2} + \frac{y^2}{8} = 1$ の両辺を x で微分すると

$$\frac{2x}{2} + \frac{2yy'}{8} = 0$$

よって、 $y \neq 0$ のとき $y' = -\frac{4x}{y}$

ゆえに、点 $(-1, 2)$ における接線の傾きは $-\frac{4 \cdot (-1)}{2} = 2$

したがって、求める接線の方程式は

$$y - 2 = 2\{x - (-1)\} \quad \text{すなわち} \quad y = 2x + 4$$

(2) $x^2 - y^2 = 1$ の両辺を x で微分すると

$$2x - 2yy' = 0$$

よって、 $y \neq 0$ のとき $y' = \frac{x}{y}$

ゆえに、点 $(\sqrt{2}, -1)$ における接線の傾きは $\frac{\sqrt{2}}{-1} = -\sqrt{2}$

したがって、求める接線の方程式は

$$y - (-1) = -\sqrt{2}(x - \sqrt{2}) \quad \text{すなわち} \quad y = -\sqrt{2}x + 1$$

[323改訂版 高等学校 数学Ⅲ 練習9]

(1) $f'(x) = 1 - e^x$

$f'(x) = 0$ とすると $x = 0$

$f(x)$ の増減表は次のようになる。

x	0
$f'(x)$	+	0	-
$f(x)$	↗	-1	↘

よって、 $f(x)$ は、 $x \leq 0$ で増加し、 $0 \leq x$ で減少する。

(2) 関数の定義域は $x > 0$ である。

$$f'(x) = 1 - \frac{1}{x} = \frac{x-1}{x}$$

$f'(x) = 0$ とすると $x = 1$

$f(x)$ の増減表は次のようになる。

x	0	1
$f'(x)$	/	-	0	+
$f(x)$	/	↘	1	↗

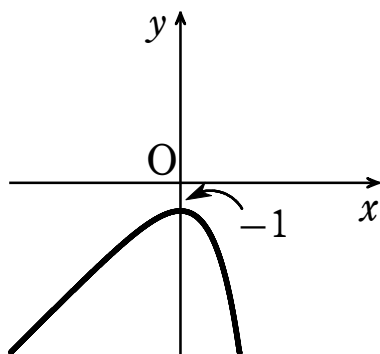
よって、 $f(x)$ は、 $0 < x \leq 1$ で減少し、 $1 \leq x$ で増加する。

(3) $f'(x) = 1 + \cos x$

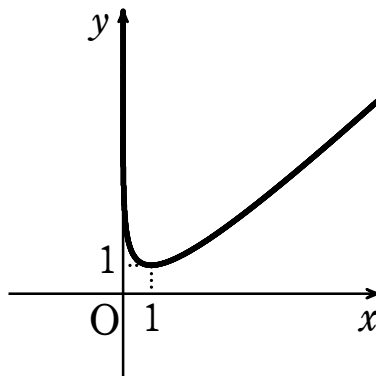
$0 < x < \pi$ で常に $f'(x) > 0$

よって、 $f(x)$ は定義域で常に増加する。

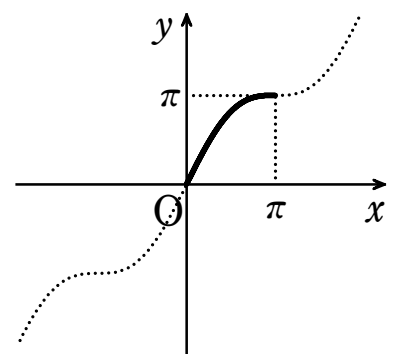
参考 (1)



(2)



(3)



[323改訂版 高等学校 数学Ⅲ 練習10]

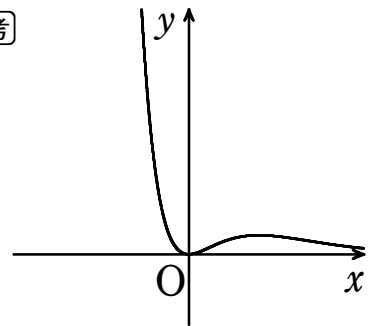
(1) $f'(x) = 2xe^{-x} + x^2(-e^{-x}) = (2-x)xe^{-x}$

$f'(x) = 0$ とすると $x = 0, 2$

$f(x)$ の増減表は次のようになる。

x	0	2
$f'(x)$	-	0	+	0	-
$f(x)$	↘	極小 0	↗	極大 $\frac{4}{e^2}$	↘

参考



よって、 $f(x)$ は $x=0$ で極小値 0, $x=2$ で極大値 $\frac{4}{e^2}$ をとる。

(2) 関数の定義域は $x > 0$ である。

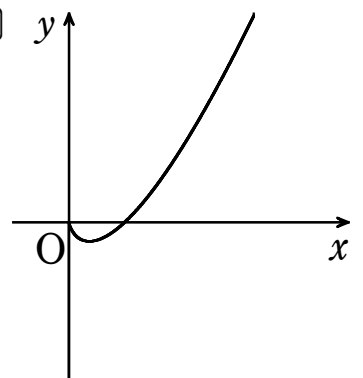
$$f'(x) = \log x + x \cdot \frac{1}{x} = \log x + 1$$

$f'(x) = 0$ とすると $x = \frac{1}{e}$

$f(x)$ の増減表は次のようになる。

x	0	$\frac{1}{e}$
$f'(x)$	↗	-	0	+
$f(x)$	↘	↘	極小 $-\frac{1}{e}$	↗

参考



よって、 $f(x)$ は $x = \frac{1}{e}$ で極小値 $-\frac{1}{e}$ をとる。極大値はない。

(3) 関数の定義域は $x \neq 0$ である。

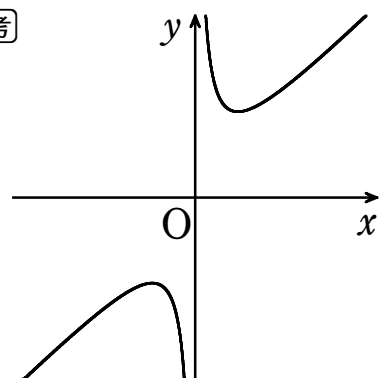
$$f'(x) = 1 - \frac{2}{x^2} = \frac{x^2 - 2}{x^2}$$

$f'(x) = 0$ とすると $x = -\sqrt{2}, \sqrt{2}$

$f(x)$ の増減表は次のようになる。

x	$-\sqrt{2}$	0	$\sqrt{2}$
$f'(x)$	+	0	-	↗	-	0	+
$f(x)$	↗	極大 $-2\sqrt{2}$	↘	↗	↘	極小 $2\sqrt{2}$	↗

参考



よって、 $f(x)$ は $x = -\sqrt{2}$ で極大値 $-2\sqrt{2}$, $x = \sqrt{2}$ で極小値 $2\sqrt{2}$ をとる。

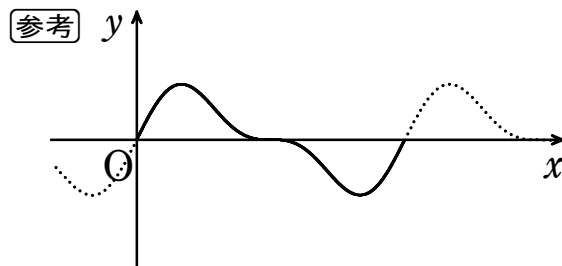
[323改訂版 高等学校 数学Ⅲ 練習13]

$$\begin{aligned}
 (1) \quad y' &= -\sin x \cdot \sin x + (1 + \cos x)\cos x \\
 &= \cos^2 x - 1 + \cos x + \cos^2 x \\
 &= 2\cos^2 x + \cos x - 1 \\
 &= (2\cos x - 1)(\cos x + 1)
 \end{aligned}$$

$0 < x < 2\pi$ において、 $y' = 0$ となる x の値は
 $2\cos x - 1 = 0$ または $\cos x + 1 = 0$

より $x = \frac{\pi}{3}, \frac{5}{3}\pi, \pi$

y の増減表は次のようになる。



x	0	$\frac{\pi}{3}$	π	$\frac{5}{3}\pi$	2π
y'	/	+	0	-	0	-	0	+	/
y	0	↗	極大 $\frac{3\sqrt{3}}{4}$	↘	0	↘	極小 $-\frac{3\sqrt{3}}{4}$	↗	0

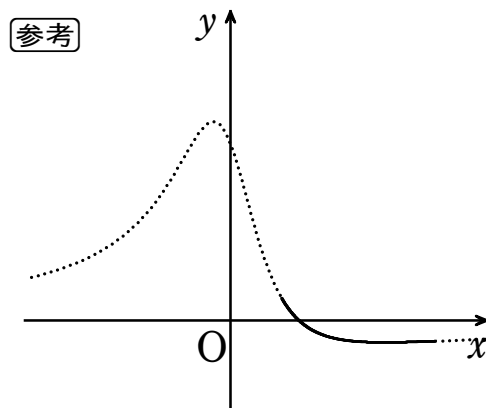
よって、 y は $x = \frac{\pi}{3}$ で最大値 $\frac{3\sqrt{3}}{4}$ 、 $x = \frac{5}{3}\pi$ で最小値 $-\frac{3\sqrt{3}}{4}$ をとる。

$$\begin{aligned}
 (2) \quad y' &= \frac{-3(x^2+1) - (4-3x) \cdot 2x}{(x^2+1)^2} \\
 &= \frac{3x^2 - 8x - 3}{(x^2+1)^2} = \frac{(3x+1)(x-3)}{(x^2+1)^2}
 \end{aligned}$$

$1 < x < 4$ において、 $y' = 0$ となる x の値は $x = 3$

y の増減表は次のようになる。

x	1	3	4
y'	/	-	0	+	/
y	$\frac{1}{2}$	↘	極小 $-\frac{1}{2}$	↗	$-\frac{8}{17}$



よって、 y は $x = 1$ で最大値 $\frac{1}{2}$ 、 $x = 3$ で最小値 $-\frac{1}{2}$ をとる。